来て！見て！図書館

行田市立図書館
佐間 3-24-7
TEL：556-4227
FAX：555-3770

開館時間：午前9時～午後7時
休館日：10月2日(月)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月)・31日(火)、11月6日(月)・13日(月)
※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

第8回　図書館まつりを開催します

▶日　　時　10月28日(土)午前10時～午後4時
▶場　　所　図書館（「みらい」内と屋外でも一部実施）
▶内　　容
①雑誌リサイクル市　午前10時～午後4時
不要になった雑誌を1冊50円で販売します。
②移動図書館車「よしきり号」「たびりん号」の見学
午前10時～午後4時（雨天中止）
③折り紙のへや　午前10時・午後2時
折り紙でいろいろな作品を作りましょう。
④図書館ぐるっと探検　午前10時30分～
普段入ることのできない秘密の本棚に案内します。

秋の読書週間特別映画会

▶日　　時　11月3日(金)午後1時30分（午後1時10分開場）
▶場　　所　「みらい」映像ホール
▶作 品 名　「すみっコぐらし～青い月夜のまほうのコ～」（上映時間64分）
▶定　　員　70人（先着順）

やってみよう！ビブリオバトル

みんなで集まってお気に入りの本の魅力を紹介し、最後に読みたくなった本を投票してチャンプ本を決めるビブリオバトルを開催します。

▶日　　時　10月28日(土)午後2時～4時
▶場　　所　中央公民館レクリエーション室
▶対　　象　小学5年生～中学3年生
▶定　　員　10人（先着順）
▶持 ち 物　お気に入りの本1冊
▶申し込み　10月18日(水)までに2次元コードによる電子申請、直接、電話のいずれかの方法で図書館

市民リサイクル文庫

不要になった本を、読みたい方に提供する「市民リサイクル文庫」を開設します。不要な本（雑誌を除く）がありましたら、次の期間内に図書館にお持ちください。

▶期　　間　11月1日(水)～8日(水)
▶場　　所　図書館入口

行田 歴史系譜 355

資料がかたる 行田の歴史 55

新たな殿様・松平忠堯から領国へのメッセージ
～農民教諭書『教諭三章』の読み聞かせ～

文政6年（1823）末、忍入封を果たした松平忠堯とその家臣団は忍城周辺の新領国の統治に向けて動き出します。

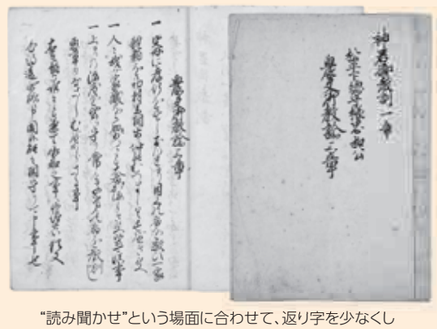
城郭の受け取りと同様に、領内村々の概況や統治に関する記録・引き継ぎ書類は、幕府役人を介して前忍藩主の阿部家から受け渡されます。しかし、その後の統治方針の決定は新藩主の専権事項でしたので、そこに松平家の独自性が現れていきます。

その鏑矢ともいえるのが、領民に対して発布された『教諭三章』です。この書物は農民が生活の中で心掛けるべき事柄を、①父母家族への孝行、②家業に励むこと、③法度を守ること、以上の三章を通じて教え諭す内容で、本来は桑名藩時代の明君・松平忠和が考案したものでした。忠和の実家は紀州徳川家であり、同家当主から8代将軍となった徳川吉宗時代に成立した『農民教訓条々』の影響を多分に受けた書物でもあります。

書物の成立から年月を経た忍・桑名・白河の三方領知替の翌年2～3月、松平家の郡奉行・代官は忍藩領の村々を訪れ、割役名主や各村の名主を集めて、『教諭三章』を声に出して読み聞かせています。同書を御家に伝わる教諭書として国替後も再活用したのです。また、松平家が徳川家康の系譜を引くことを強調する『神君御教訓一章』という書物も合わせて流布させていきました。

このように、国替えの直後、模範的な農民生活の指針とともに、神君家康から血統・松平姓・三葉葵紋を受け継ぐ松平下総守家の由緒が領民たちのもとへ届けられることになったのです。184年間の長きにわたり続いた阿部家時代に替わり、松平下総守家が新たな忍藩主として領民に受け入れられるための、強いメッセージを必要としていた当時の状況が伝わってきます。

（郷土博物館　澤村怜薫）



“読み聞かせ”という場面に合わせて、返り字を少なくし仮名文字を多く使っている『教諭三章』本文（郷土博物館蔵）

クローズアップ！！ ぎょうだの会社を

松坂屋建材株式会社

若い世代の育成を通じて地域貢献を

今回は、建築資材の販売や内装・エクステリア工事など建築工事を総合的に手掛ける松坂屋建材株式会社を紹介します。

同社は、昭和41年に創業。当時は、建築資材の販売を主軸としていましたが、大型ホームセンターなど建築資材を取り扱う事業所が増加したことを背景に、平成10年から建物などの工事業に特化し、現在では売り上げの約8割を占めています。主に建物内部の天井・床・壁を仕上げる「内装工事」、ユニットバスの入れ替えやトイレ改修などの「リフォーム工事」、門やフェンス、駐車場など外構全般の「エクステリア工事」を請け負う同社では、ヒアリングからアフターケアまでを自社で一括して行っていることにより、配慮の行き届いた、きめ細やかなサービスを提供しています。また、工事内容に応じた専門社員がおり、豊富な知識と経験で迅速かつ丁寧な作業を行っています。「長く建築資材の卸売りをしているため、工事の材料を自社で調達することができます。他社に比べ材料費が安くなるだけでなく、特殊なものや高品質なものなど多様な建築資材の使用が可能です」と代表取締役の小澤照章さんは同社の強みを話します。

同社では「プロ意識の向上」を図るため、社員全員が建築士や施工管理技士などの国家資格を取れるよう、教材代・受験費用の負担や勉強に必要な時間を提供するなどの支援をしています。また、若い職人を社員として迎え入れ、将来を見据えた人材育成にも力を入れています。

今後について、小澤さんは「地域に必要とされる企業を目指したい。そのためにこれからもお客様の理想を『適正な工法、適正価格に基づいた施工』によって実現させていきます。また、技術者の高齢化が深刻な問題となっている今日で、若い世代に技術承継をしていくこともわが社の重要な役割だと考えています」と語ってくれました。地域に必要とされる「プロ集団」として、これからも同社は多くの方の「暮らしを彩るお手伝い」を続けていくことでしょう。

会社プロフィール

代表取締役　小澤　照章
【事業内容】建築資材の販売、内装工事、リフォーム工事、エクステリア工事など
【所 在 地】向町 26―22

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課（内線318）までお寄せください。

私の作品

俳句

谷郷　羽石　芳道
鬼灯の衒うが如く藪の中

長野　牧　努
闇に咲き闇に散りゆく花火かな

門井町　宮田　淑尚
またひとり杖を頼りの盆の客

小見　三宅　典之
ふるさとの穴子の便り法華山

富士見町　江利川敏夫
盂蘭盆会声なき父母の声を聞く

藤原町　斎藤雄次郎
終戦日父の背中の灸の跡

持田　二瓶　弘子
活けられて風を欲しがる秋桜

棚田町　川鍋　幽覚
山門の影に秋立つ阿弥陀仏

旭町　大川　恵子
夏休み孫は縦横成長す

荒木　藤田　栄之
一椀の茶に心足る秋日和

和田　小林　博矣
なすきゅうりご先祖さまの足となる

持田　中野　華泉
新豆腐胃の腑にやさし術後かな

忍　大澤　由子
見送りのわが影照らす宵の月

長野　鎌田　昇
一袋の新米どんと届きたり

矢場　島田　健治
それぞれの胡弓の音色風の盆

門井町　江原つとむ
腰曲げて人と見紛ふ案山子かな

埼玉　田口　麗湖
朝にしか生きる場所なし猛残暑

門井町　塚原　武夫
無花果や好みし妣の顔うかぶ

（三沢　一水　選）

○俳句応募方法　一人3句以内。毎月末日（必着）までに、住所、氏名（ふりがな）、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。